

路面電車を活用したまちづくりを考える
市民会議を開催

路面電車に関する市民議論がスタートします

十月十六日(土)、十七日(日)の二日間、路面電車を活用したまちづくりを考える市民会議を開催します。

三月に「路線を延伸すべきである」という活用方針をまとめた。

近年、路面電車は人や環境に優しく、まちの活性化に貢献できるといって国内外の都市で導入が進んでいます。市では、路面電車を活用し、より魅力的で暮らしやすいまちづくりを進めるため、今年

今回の会議では、この方針を基に、市民の目線で路面電車の課題と可能性について検討します。市民会議で出された意見は、今後の市の検討に生かしていきます。

【詳細】都市交通課 ☎(21) 2 4

市民が、路面電車活用の課題と可能性を考えます



無作為抽出した市民2,000人に送付したアンケートに案内文を同封し、会議への参加希望者の中から30人を決定。5人～6人のグループに分かれて話し合い、グループごとの意見をまとめます。

【日時】10月16日(土)、17日(日) 午前10時～午後4時
【会場】すみれホテル(中央区北1西2)

会議は傍聴
できます

会議は傍聴することができます。ただし、発言はできませんので、あらかじめご了承ください。

今後、さらに大規模な市民議論を行います

今回の会議を踏まえ、さらに100人規模の市民会議を開催するほか、路面電車について意見を発表する場も設ける予定です。詳しくは、本誌11月号でお伝えします。

パンフレットを
配布しています

路面電車を活用したまちづくりについて詳しく紹介しています。
【配布場所】区役所、区民センターなど

さっぽろっこスキー
フェスティバルを開催します

シンポジウムやスキー用具のリサイクルを実施

この秋、札幌のスキー学習について考えるシンポジウムと、スキー学習に伴う負担を軽減するためのリサイクルスキー用具の提供を行います。

これは、札幌の子どもたちにもっとと親しんでもらうために行うもの。数年前までほとんど行われていたスキー学習は、授業数の減少や経費などの理由により、近年、実施校・実施回数が増減してきました。

市では、「札幌らしい特色のある学校教育」のテーマの一つに「雪」を位置付け、雪に親しむという北国ならではの貴重な学習活動として、今後、スキー学習の拡充に努めていきます。

【詳細】コールセンター ☎(22) 4 8 9 4

「雪」シンポジウムを開催 ❄️

90年代に活躍した元全日本デモンストレーターや現役のトップスキーヤーが、スキーの魅力を語ります。



【日時】11月13日(土) 午後1時30分～4時
【会場】ちえりあ(西区宮の沢1の1) 【定員】400人
【申込】☎、ファクス、Eメール。10月11日(祝)から市コールセンター(1階)へ。先着

子どものリサイクルスキー用具を無料提供

市民から提供されたスキーをプロショップで整備し、リサイクルします。子どものスキー学習にご活用ください。

対象

カービングスキー
(100センチ～170センチ)、
ストック、スキー靴

※なお、リサイクルスキーの回収は終了しました

■10/20(水)～28(木)
ホームページで欲しいスキー用具を決め、市コールセンターに連絡。(ホームページをご覧にならない方は市コールセンターにご連絡ください)

■10/29(金)～11/4(木)
抽選を行い、結果をご連絡。

■11/13(土)または20(土)
スキー用具を引き渡し。引き渡し場所は個別にご連絡します。

申し込みの流れ

ホームページ www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/sapporokko_ski/index.html